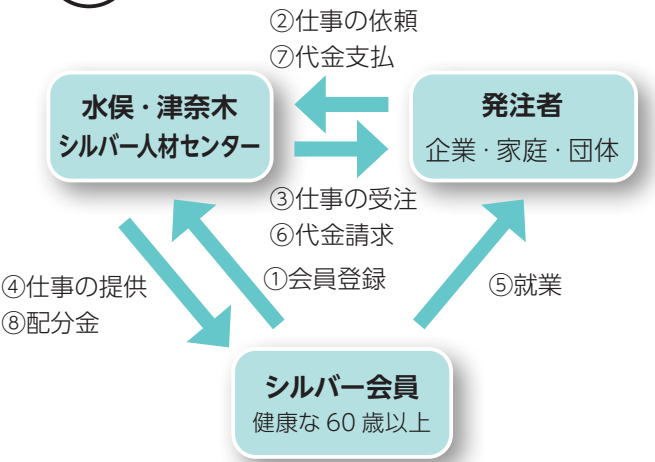


？ シルバー人材センターとは

シルバー人材センターは、定年退職を迎えた人などが、働くことを通じて、自らの生きがいの充実と健康の増進を図り、活力ある地域社会づくりに貢献することを目的とする団体です。健康で働く意欲があり、センターの趣旨に賛同できる 60 歳以上の人であれば誰でも入会できます。

？ シルバー人材センターの仕組み



？ シルバー人材センターに頼める仕事

屋外作業から、事務作業までさまざまな仕事を請け負っています。シルバーならではの丁寧さや、熟練の技術が生かされています。

種類	内容例
技術作業	自動車の運転・講師・家庭教師・経理事務
技能作業	庭木のせん定・大工・機械草刈り・伐採
事務	一般事務・受付事務・宛名書き・毛筆賞状書き
折衝外交	店員・配達・チラシ配布
管理業務	建物管理・守衛・駐車場管理
屋外作業	草取り・畑おこし・ごみの収集・墓地清掃・不用品処分
屋内作業	清掃・商品整理・包装
サービス	家事手伝い・家庭内清掃・福祉サービス



町から依頼を受け、週に 1 回、津奈木町図書館で清掃する新立登美さん（写真右）。各地でシルバー人材センター会員がいきいきと活躍しています。

【特集】水俣・津奈木シルバー人材センター
人生 100 年時代、
まだまだ現役。

の 1 つです。
同センターでは、60 歳以上の人を対象に津奈木町・水俣市内の仕事を紹介。今までの知識や経験を生かしたものはもちろん、気軽に始められるようなものや、人と関わったり体を動かしたりするものなど、自分の希望する働き方に合った仕事をたくさんの選択肢の中から選べます。
今月号では、地域になくはないシルバー人材センターについて、概要やシステム、いきいきと活躍する会員の皆さんの姿を紹介します。

ふだん皆さんが利用しているスーパーで、カート整理や品出し、駐車場の管理や草木の手入れなどをしている人を見かけたことはありませんか。実はその仕事は、シルバー人材センターで紹介できるもの

活躍の場は人それぞれ

「定年後も働きたい。さまざまな思いを持ち、仕事を続けたいと考えている人がたくさんいます。しかし、「年齢のせいだ断られてしまうかも」「仕事に限られていて選べない」などの不安や悩みはありませんか。そんなあなたの不安や悩みを解決してくれる強い味方が「シルバー人材センター」です。



（公社）水俣・津奈木シルバー人材センター ※開庁時間 8:30~17:15

高齢化や人手不足が問題となっている昨今。津奈木町でも、4人に1人は75歳以上という超高齢社会を迎えています。今後、さらに労働人口が減少することが予想され、働く意欲のある高齢者が年齢に関係なく能力や経験を生かして生涯現役で活躍し続けることが求められます。松山事務局長は「人が一番の財産です。会員が減っていくのは、組織の根幹が揺るがされます。会員を増やして、組織を強化していきたい。地域に貢献し、会員に生きがいを提供できる、社会に

超高齢社会での役割

「持ちつ持たれつ」の地域づくり
高齢化が進む地域で、気軽に仕事を依頼できるシルバー人材センターは頼もしい存在です。今日もまちのどこかで地域のために活動します。

役立つ組織にしていきたい。就業形態を増やし、仕事の幅を広げていきたい。会員が一人でも二人でも増えれば、人も組織も幸せになれると思います」と話します。

あなたの力が
必要とされています

多くの場面で、私たちの生活を支えてくれているシルバー人材センターの皆さん。生涯現役、人生100年時代と言われる昨今だからこそ、同センターの可能性は計り知れません。豊富な経験や知識、技能を地域のために生かしてみませんか。仕事を通して「健康づくり」「生きがいづくり」に取り組みましょう。



仕事を依頼したい

まずはシルバー人材センターへ申し込んでください。会員が派遣先の指揮命令を受けて就労する「派遣事業」も企業などを対象として行われています。

①シルバー人材センターへ電話などで申し込む

②担当者の仕事の内容・条件・代金を相談

③センターから依頼を受けた会員が仕事を遂行

④センターに代金を振り込む

申込先

(公社) 水俣・津奈木シルバー人材センター 〒867-0062 熊本県水俣市築地9番 38 号
☎0966-62-1122 FAX 0966-62-1123

会員になって活躍したい

▶対象

60 歳以上の津奈木町・水俣市に住んでいる人
※仕事をしている人でも会員になれます。

▶入会方法

入会申込書を提出後、月に1度ある新人会員研修を受講してください。

▶年会費

2,000 円（入会する月で変わります）

▶収入

一定の収入（配分金）の金額保証はありません。仕事内容と就業日数で変わります。



浦口 勝也 さん
(浜崎)

シルバーで働くことは
生きる活力になる

「家にいるよりも外で何かしたい」との思いで、2年前に入会しました。主に療養介護施設と病院間の送迎運転手を務めています。送迎用の福祉車両の運転は初めてでしたが、シルバー人材センターが主催する運転者講習会を受け、必要な知識や技能を学ぶことができました。

ただ外に出て歩くだけでなく、責任を持って仕事をすることに意味があるので、できるだけ長く続けたいです。「人生100年時代」と言われるようになり、人々の意識や社会のあり方が変わり始めている。無理をし過ぎず、自分の希望に合わせて働くことは人生にとってプラスになると思います。

働き方いろいろ、いきいきライフ

現在、津奈木町では約 30 人の会員が元気に活躍しています。

シルバー人材センターを通じて津奈木・水俣地域で仕事をされている皆さんに、仕事のやりがいなどを伺いました。

仕事中の会話で 新しい発見がある

知り合いの紹介で4年前に入会しました。今までに行った仕事はいろいろありますが、現在は不法投棄のパトロールを主に担当しています。他にも不用品の回収や草刈りも行っていて、一生懸命仕事をした後で、すぐきれいになったのを見ると達成感があります。

この仕事を始めてから、いろんな人とお話する機会が増えました。自分の知らないことを学ぶことができ、楽しく仕事をしています。サービスを通して利用者に喜んでもらい、元気になってもらうことに一番やりがいを感じます。また、私自身も利用者の皆さんから元気をもらっています。



真野 成一 さん
(大泊)

INTERVIEW

生きがいと地域のニーズを結びます



(公社) 水俣・津奈木
シルバー人材センター
松山 勝征 事務局長

シルバー人材センターは、皆さんの困りごとを手助けすること、高齢者の生きがいづくり、地域社会の活性化に貢献していくための組織です。町民同士で助け合うための仕組みを「仕事」という形で作ることができれば、津奈木町はもっと暮らしやすい町になると思います。

高齢化が進み、会員が減ってきており、繁忙期には一部の依頼を断らざるを得ない状況です。会員の中には健康維持のために入会し、生きがいある充実した生活につながっているとの声もあります。これからも、地域の困りごとを解決する方法の一つとして、センターの活動を広げていきたいです。